

2007 年度社会的諸問題検討委員会 議事録

日時: 2008.1.28.

場所: AP 大阪

出席者: 織井優佳、佐藤恵子、増井徹、松井健志、丸山英二、玉腰暁子

大幸研究の研究計画について討議し、指摘事項をまとめた。

医療機関照会同意確認文書について

中央事務局から提案のあった書式について討議した。下記のように多様な意見が出され、委員内での合意には至らなかった。運営委員会も含め、他委員会の意見も参考にしてほしい。

- 「罹患したがんに関する内容」となっているが、具体的な項目を挙げずに得た同意が有効かどうかという問題がある。また、この書き方で対象者、ならびに主治医が納得できるか。
- 登録票そのもののコピー、あるいは調べる項目を列記したらどうか。
- 登録票にある項目すべてを出す場合、「死亡」に関しても記載しなくてはならず、死を想起したくないがん罹患対象者に不安感・不快感を与えるおそれがある。そのために同意率が減る可能性も考慮する必要がある。
- 死亡に関しては死亡小票から情報が得られるので、死亡を除いた項目を調べることとし同意を得たらどうか。
- 同意は自署、となっているが、状況によっては自署できないこともあるのではないか。

外部評価委員会委員交代について

中央事務局より問い合わせのあった件につき検討した。今回のような交代については、外部団体からの推薦は不要で、外部評価委員会で受け容れられる人選であればよい、との意見であった。